

## G7首脳コミュニケ

2022年6月28日、エルマウにて

### 前文

我々、G7首脳は、2022年6月26～28日、国際社会にとっての重要な節目において、公平な世界に向け前進するためエルマウで一堂に会した。法の支配を遵守する開かれた民主主義国として、我々は共通の価値により推進され、ルールに基づく多国間秩序及び普遍的人権へのコミットメントにより結束する。ウクライナ支援に関する我々の声明において示されるように、我々は、平和的で繁栄した民主的な未来のための戦いにおいてウクライナ政府及び国民を支援するため結束し、世界のエネルギー及び食料安全保障の確保を支援し、経済回復を安定化させる目的を含め地域及び世界への有害な影響に対抗するための取組を強化しながら、ウクライナに対するこの不当な侵略戦争に対し、プーチン大統領の体制に厳しく、かつ即時の経済的コストを課し続ける。世界が分断により脅かされる中、我々は、共に責任を担い、気候変動への対処、公正な移行の確保、現在及び将来のパンデミックへの対応、ジェンダー平等の達成といった喫緊の地球規模の課題に対する解決策を見出すため世界中のパートナーと共に取り組む。

我々はエルマウで、我々の民主主義を保護及び強化し、他の国際的なパートナー及び組織と緊密に協力しながら地球規模の課題に共同で取り組むとの我々のコミットメントにおいて我々と結束しているアルゼンチン、インド、インドネシア、セネガル及び南アフリカの首脳の参加を得た。我々が本日行うコミットメントは、2030アジェンダに沿った、持続可能な開発、包摂的な経済回復及び豊かで平和な未来に向けた我々の道筋を形作る。

### 持続可能な地球

#### 気候・エネルギー

我々は、パリ協定及びその実施の強化への我々の揺るぎないコミットメントを再確認する。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告を受け、我々は、現在のところ世界全体の野心も実施も、パリ協定の目標を達成するのに十分ではないことに懸念をもって留意する。我々は、地球温暖化を摂氏1.5度に抑えるために、IPCCの最新の見解に照らし、2030年までに世界全体の温室効果ガス排出量を2019年比で約43%削減するために行動する緊急性が高まっていることを強調する。これを受け、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）に向け、我々は、この10年間の緊急で野心的かつ包摂的な行動にコミットし、他国にも同じ行動をとるよう強く求める。我々はまた、気

いことを明確に示している。我々は、「女性・平和・安全保障」の議題を更に促進し、実施する。我々は、紛争状況におけるものを含む、性及びジェンダーに基づく暴力といった人権侵害に関する記録及び説明責任を改善する。我々は、紛争に関連する性暴力を防止し対応するための国際的なアーキテクチャの実施を強化する必要性を改めて表明し、紛争予防、危機管理、紛争解決、救援・復興及び長期的平和構築の重要な担い手として、女性及び女児のエンパワーメントを支援する。

## **共により強く**

我々は、地球規模の課題に取り組み、全ての人にとって公平で豊かな世界に向けて取り組む上で、民主的価値が我々をより強固にすると確信している。我々は、「2022年強じんな民主主義に関する声明」に示されるように、我々の民主主義の強じん性を強化するために、市民社会及び我々のパートナーと国際的に協働する。

## **ジェンダー平等**

ジェンダー平等の達成は、我々が強じんて包摂的な民主的社会に向け努力し、また、世界中での権威主義の高まり並びに女性及び女児の権利に対する反発に対抗するために、不可欠である。我々は、女性と男性、トランスジェンダー及びノンバイナリーの人々の間の平等を実現することに持続的に焦点を当て、性自認、性表現あるいは性的指向に関係なく、誰もが同じ機会を得て、差別や暴力から保護されることを確保することへの我々の完全なコミットメントを再確認する。この目的のために、我々は、長年にわたる構造的障壁を克服し、有害なジェンダー規範、固定観念、役割及び慣行に対処するための我々の努力を倍加させることにコミットする。我々は、あらゆる多様性をもつ女性及び女児、そしてLGBTIQ+の人々の政治、経済及びその他社会のあらゆる分野への完全かつ平等で意義ある参加を確保し、全ての政策分野に一貫してジェンダー平等を主流化させることを追求する。「ジェンダー平等アドバイザリー評議会」及び「W7（女性）」による提言を基礎として、我々は、G7のコミットメント及びジェンダー平等の達成に向けた進捗を継続的に監視するメカニズムを導入する。この目的のため、我々は、ジェンダー平等の進展に関連する幅広い政策領域にわたる主要な指標を網羅する「ジェンダー格差に関するG7ダッシュボード」を承認し、毎年 of 定期的な最新情報の報告を期待する。加えて、我々は、OECDから最初の実施報告書を受領することを期待するとともに、パートナーに引き続き働きかける。

我々が現代の地球規模の課題に取り組むべく努力する一方、我々は、それらがジェンダー中立的であることからほど遠いことを認識し、そのジェンダー上の影響に対処することを決意する。我々は、今後数年間にわたり、ジェンダー平等並びに女性及び女児のエン

パワーメントを促進する、G7の二国間で割当可能なODAの割合を共同で増加させるべくあらゆる努力をすることにコミットする。

新型コロナウイルスのパンデミックは女性及び女兒に不均衡に影響を与え、有償と無償のいずれでも、我々の社会と経済を機能させるためのケア労働の不可欠な役割を強調するとともに、その不平等な配分によりジェンダー不平等の主要な原因であることも浮き彫りにした。無償のケア労働を認識し、削減し、再分配すること、そして、有償のケア労働に適切に報酬を支払い、ケア労働者の代表性を保証することが最も重要である。そのために、我々は、保育奨励基金への7,900万米ドルの我々の共同の支援を通じたものを含む、質の高い保育インフラへの世界的なアクセスを拡大する取組を支援し、それにより女性の経済的エンパワーメント、子どもの成果、家族の福祉及び全体的な経済成長を向上させる。パンデミックはまた、何百万人も女性から性と生殖に関する保健サービスを奪い、全ての人の「性と生殖に関する健康と権利（SRHR）」に関する過去20年間の進展を危険にさらしている。我々は、全ての個人の包括的なSRHRを達成することへの完全なコミットメントを再確認し、人道的危機における緊急時の性と生殖に関する保健サービスへのアクセスの重要性を強調する。我々は、SRHRがジェンダー平等並びに女性及び女兒のエンパワーメントにおいて、また、性的指向及び性自認を含む多様性を支援する上で果たす、不可欠かつ変革的な役割を認識する。

### **過激主義、偽情報、外国の干渉及び腐敗**

我々は、開かれた多元的な社会において、我々の市民全てに安全を提供することにコミットしている。この目的のため、我々は、あらゆる形態の暴力的過激主義及びテロと闘うために我々の協力を強化する。

民主主義の後退と我々の基本的価値の毀損を阻止することを目的として、我々は、外国からの情報操作を含む偽情報に対して民主主義及び我々の制度を強化するため、G7間及びパートナーと緊密に協調する。ロシアのウクライナに対する侵略戦争に照らし、我々は、偽情報を含む情報操作及び干渉等の外国からの脅威から我々の民主的制度と開かれた社会を守るため、G7即応メカニズム（RRM）を通じて引き続きコミットし、我々の協力を強化する。我々は、ロシアの前例のない情報戦に直面する中でウクライナの情報環境の十全性を支援するための、G7各国政府、ソーシャルメディアプラットフォーム及び市民社会から成るマルチ・ステークホルダー危機ネットワークの構築における、カーネギー国際平和基金との協力を含む、G7RRMによる即応を歓迎する。この目的のため、我々は、ハイブリッドな脅威に対する拡大された焦点を通じてG7RRMを更に発展させるとともに、国以下のレベルでも外国からの干渉に対応できるようその能力を強化する。より広範には、我々はまた、社会全体的なアプローチ及びOECD内の協力を通じて、公的主